

□ 武田まり子ストーリー

長野県小諸市に生まれ、3歳からクラシックバレエをはじめます。
スポーツ少女時代だった高校を卒業後、以前からあこがれていたOSK日本歌劇
学校を受験し、超難関を突破！見事合格することができました。



そこでは技芸の道を究めるべく、一生懸命歌や芝居や踊りの稽古に明け暮れる毎日なのはもちろん、大変厳しい上下関係と礼儀作法をしつけられました。



2年間、厳しい学校生活と技芸の習得をし、ラインダンスが名物なOSK日本歌劇団（大阪松竹歌劇）で念願の舞台女優となることができたのです。
初舞台が終わり次の作品ではOSK 始まって以来初の入団1年目での役付き！となり、ファンクラブができるほどの人気となりました。

その後、新しい世界にチャレンジしたいと思い、モデル・芸能活動を始めました。

レースクイーンをはじめ、アルファロメオキャンペーンガールや、ミス湘南に選ばれました。舞台では松平健主演の“暴れん坊将軍”に出演し、東京、大阪、名古屋を回りました。

テレビでは1年間TBS「愛のひな壇」などでレギュラー出演をし、映画やイベントなどマルチタレントとして活動しておりました。



実は現在、姿勢コンサルタントをしている原点はここまでの2つのキャリアがその原点になっています。ひとつは、ミス湘南コンテストに出場した際の最終審査、ステージ上で行われる自己PR、特技披露をしている時の体験です。



すごく素敵でキレイな女性ばかりが集まるのがオーディションです。座っている段階では、みんなキレイですが、ステージ上で歩いたり、しゃべったりしている姿を見て、“なんてみんな姿勢が悪いだろう”と思ったのです。

自信がなくなったり、キレイにみえなかったり、キレイな女性からは程遠く感じられました。そして、そのオーディションでは決して一番キレイというわけではない私が合格することができたのです。

そのとき振り返ってみると自分が採用されたのは「姿勢ではないか、姿勢のよしあしで圧倒的に差が出てしまう。だから世の女性たちになんとか姿勢の大切さを伝えなくては！」と想いいたりしました。

それを何とか形にしたいと思い一步一步実績とノウハウを積み上げていき始めるのです。

その第一歩は、3歳から習っていたクラシックバレエを活用することでした。

バレリーナや舞台女優は姿勢がよく、そしてどんなに背が小さくとも自分を大きく美しく魅せることができるのが特徴なのです。

これを一般の女性にも簡単にトレーニングできる、“美しく痩せる為のバレエエクササイズ”を構築したのです。トレーナーとして、コナミススポーツクラブ青山、リビエラススポーツクラブ南青山、広尾倶楽部など高級フィットネスクラブでスタジオレッスンをはじめ、アドバイザーとしてはプライベートレッスンを受け待ち大変話題となったのです。



フリーのトレーナーとして活動しているそんな時期（03年8月）に以前所属していたOSK（大阪松竹歌劇団）が81年の歴史に幕を下すこととなる、という話が耳に入りました。

私はOSKからは、技芸だけでなく、礼儀や人としての生きる姿勢や考え方を学びそれが人生のベースになっていましたので、なくなってしまうというにどうしても耐えられない切ない思いを持ちました。

そして、伝統を守りたいとOSKの卒業生OGを率い、レビューショーを行うための、有限会社エトワールを設立したのです。当初の事業目的は夢や希望を売るショービジネスで全国を回るというものでした。



まずそのステップ1は劇団名をエトワールとして「七色の虹に唄えば」を開催することを企画しました。私は代表取締役でもあり、舞台をまとめる総合プロデューサーという立場でもあり、そして技芸を磨き続けた女優としても舞台に立ちました。

03年、港区芝ABCホールにて興行を行い、3日間で2,000人を集め、大成功をおさめることができたのです。



ですが、表向きとは裏腹に舞台裏では、様々な人の裏切りや詐欺まがいの問題が発生し、ぼろぼろになってしまいました。私は代表として責任を負い、一人で多額の借金を背負い、最終的には倒産する羽目になりました。一方では裁判をかかえ、非常に辛い日々でした。

正直な話、2年間は何にも手につかない状態でした。それほど、ショックだったのです。

仕事もやめ、うちにこもり、自己嫌悪に陥り、すべてが嫌になりました。

今から思えば、私の力不足でしかありません。

いつまでもぐずついても仕方ありません。私自身が純粋に輝き続けたい、そして人に夢や希望を与える存在でありたい、という気持ちが強く根底にありましたので、改めて立ち上がることを決意しました（05年）





ひとつは、小さいころにお世話になったバレエの先生からのご縁ではじめたのが、生まれ育った地元長野県小諸市で開設した子供のための “エトワールダンススクール” です。

エトワール (etoile) はフランス語で “星” という意味です。子供たちが心に自分自身の「星」を掲げ、それに向かって邁進できるようその素地を創り続けようと考えました。ここではバレエ・ダンスを楽しみながら技芸を習得することはもちろん、レッスンを通した情操教育が大人になる段階で必ずよい影響を与え、将来の幅が広がると信じています。

今では、開設より5年が過ぎ、定期的に発表会を開催するまでになりました。平日は東京、毎週末は地元小諸市でバレエの先生として活動する形になってしまって、体力的に辛いときもありますが、子供たちの笑顔を見ているととても活力をもらえるのも続けているモチベーションです。

もうひとつは、姿勢コンサルタントとしての展開です。

それまで、フリーのトレーナーとして、美と健康をサポートしているうちに個々に結果がだせるようになってきました。すると、応援してくれる人が増えるようにもなり、結果が出始めるとたくさんの方と知り合う機会が増えてきました。

その頃には人間不信も段々と和らぎ、一心不乱に頑張りました。

そんなとき、ダイエット本を出したいという出版社と引き合わせて下さった方がいました。

“まさか私が？”と思いましたが、なんかビビビッときたものを感じたのです。

すぐに連絡を取ってくださり、紹介を頂いたのが、発行人であるプレスプランとサンクチュアリ出版のご担当者でした。私のノウハウを理解してくださり、すぐに出版することが決まったのです。



そして想いが強すぎて執筆に時間がかかってしまいましたが、1年がかりで、ついに目標の一步でもあった書籍を06年7月に世に出すことができたのです。それが、姿勢コンサルタントのノウハウをまとめた、「夢をかなえる姿勢術」です。

なんと、まだ有名ではなかった私の本が1ヶ月で増刷することになったことが実感できず、目を覚ましたら夢だったなんてことが起こるのではと思ったほどです。

さらに、その書籍の企画とほぼ同時に心に描いたのが美しい姿勢を作る為のレッススタジオ「style URBAN」を作ることでした。

顧客は、都会で働く忙しい女性！美意識の高い女性！

姿勢コンサルタントを志してからずっと携わり思いを持ってケアしてきたターゲットです。

開設は苦勞の連続でした。

執筆活動をしながら、自分の足で歩きながら物件を見続け、仲間探しを続けていました。

自分でヨガ、ピラティス、ダンスなどスポーツクラブに行ってスタジオレッスンを受講し、

いいと思った先生に「style URBAN」でも教えてもらおうと、アプローチし続ける日々でした。

講師は少しずつ集まりましたが、場所も決まらず、いい物件をさがすのには数年かかりました。

物件は青山を中心にいくつも見て探していたのですが、ある日六本木に立ち寄ったときにピンとききました。防衛庁跡地でイメージしづらかったけど、ミッドタウンが完成したらこの街は変わる！と。

そして思い切って六本木ミッドタウン完成予定場所の目の前のビルに狙いを定めました。入居は住居か事務所が条件でしたが何とかレッススタジオという店舗で借りることも承諾してもらえました。そう、それがまさしく、夢がかなった瞬間でもあったのです！

計画を立て、コツコツとやってきたつもりでしたが結果、本の出版とスタイルアーバンの開設と重なり、突然大忙しとなったのです。けれどもせっかくなってきたチャンス、逃すわけには行きません。チャンスは自分の手でつかまないとあっという間に去ってしまう。今はただ、前に突き進んでいます。



これまでのビジネス活動の中で、振り返ってみると、必ず、チャンスはみんなにやってくるものだとつくづく思っています。どん底のときは本当につらかったですが、「夢は叶う！自分を信じる！」と言い聞かせやってきましたことが、実証できたと思っています。

現在では、姿勢コンサルタントとして美しい姿勢に関する<理論>と<実践>を提供することで、人がより美しく、より輝くサポートをしています。このWEBサイトに詳細を示しましたのでご覧ください。

「美的」「BODY PLUS」「VOGUE」などの雑誌やメディアで取り上げられ注目を浴びるようになり、スポーツメーカーデサントの人気商品“シセイスト”オフィシャルアドバイザーとしても活動しています。



今後のビジョンは、これまでの活動をさらに広げ、セミナーや企業の研修などを通して、日本の女性＝ねこ背というイメージをなくし、キレイで輝いた女性を一人でも多く作りだすことのお手伝いをし続けたいと思っています。

「姿勢をよくするとこでもっとキレイになれる、そして健康でいられる」そう信じています。

武田まり子メソッドでハッピーになったという人を増やしていきたいです！

姿勢コンサルタント 武田まり子